

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号
特表2002-536727
(P2002-536727A)

(43) 公表日 平成14年10月29日 (2002. 10. 29)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テマコード* (参考)
G 0 6 K 19/07		H 0 1 Q 1/24	C 5 B 0 3 5
19/073		1/38	5 J 0 4 6
H 0 1 Q 1/24		1/40	5 J 0 4 7
1/38		7/00	
1/40		G 0 6 K 19/00	H
審査請求 有 予備審査請求 有 (全 18 頁) 最終頁に続く			

(21) 出願番号 特願2000-596520(P2000-596520)
 (86) (22) 出願日 平成12年1月3日 (2000. 1. 3)
 (85) 翻訳文提出日 平成13年7月26日 (2001. 7. 26)
 (86) 国際出願番号 PCT/EP 00/00025
 (87) 国際公開番号 WO 00/45332
 (87) 国際公開日 平成12年8月3日 (2000. 8. 3)
 (31) 優先権主張番号 99101576. 9
 (32) 優先日 平成11年1月29日 (1999. 1. 29)
 (33) 優先権主張国 欧州特許庁 (EP)
 (81) 指定国 EP (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE), BR, CN, IN, JP, KR, MX, RU, UA, US

(71) 出願人 インフィネオン テクノロジース アクチ
 エンゲゼルシャフト
 ドイツ連邦共和国 ミュンヘン ザンクト
 マルティン シュトラッセ 53
 (72) 発明者 ミハエル スモーラ
 ドイツ連邦共和国 ミュンヘン ユタシュ
 トラーセ 17
 (72) 発明者 ドミニク ヴェゲールツエーダー
 ドイツ連邦共和国 ハール ドクトルーマ
 ッハーシュトラッセ 105
 (74) 代理人 弁理士 矢野 敏雄 (外4名)

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 集積回路

(57) 【要約】

本発明は集積回路に関する。前記集積回路はデータまたはエネルギーを無接触で伝送するための少なくとも一つのアンテナを有している。アンテナ (1) は保護すべき回路部分の上方および/または下方に配置され、保護回路の一部として、集積回路を外部からの不所望な侵襲について監視することを可能にする。この種の侵襲は、物理的变化がアンテナ (1) を介して伝送された保護回路信号の有意な変化に至らしめることにより、外部から観察または改ざんを試みることによって識別される。前記侵襲は、特徴的にはアンテナの物理的特性の変化と結びつく。この変化は信号検出器 (4) によって識別され、集積回路を安全モードへ移行させる。ここで、アンテナ (1) はデータおよび/またはエネルギーの伝送のための手段としての機能の他に、集積回路に対する保護回路の保護シールドと作用する機能も開示する。アンテナのこれらの機能によって、無接触で伝送するためのアンテナを有する、特にチップカードへの導入に対する、廉価なかつ保護された集積回路を得ることに成功する。

